

令和7年版 火災統計

— 暫定版 —



置賜広域行政事務組合消防本部

は じ め に

この火災統計は、令和7年（1月～12月）に置賜広域行政事務組合消防本部管内で発生した火災についての数値を集計したものです。

火災原因調査に時間を要し、確定していない項目があるため「暫定版」として発行するもので、数値が確定次第更新いたします。

目 次

1	火災発生状況（前年比較）	1
2	市町別火災発生状況（前年比較）	2
3	火災通報（覚知）方法	3
4	初期消火状況	3
5	月別火災発生状況	4
6	四季別火災発生状況	4
7	曜日別火災発生状況	5
8	時間別火災発生状況	5
9	出火原因（前年比較・過去5年）	6
10	住宅火災発生状況	7
11	各市町消防分団別火災発生状況	8
12	過去10年間の火災発生状況	9 - 10
参考	全国の令和6年と令和5年の火災件数等の比較		

置賜広域行政事務組合消防本部管内情勢 （令和8年1月1日現在）

	人 口（人）	世帯数（世帯）
米 沢 市	75,489	33,535
南 陽 市	28,134	10,851
高 畠 町	20,476	7,438
川 西 町	12,799	4,317
計	136,898	56,141

1 火災発生状況（前年比較）

令和7年の火災件数は47件でした。前年や過去10年間の平均値と比較しても減少傾向となっており、火災による死傷者は、死者が2人、負傷者が7人でした。これも前年に比べ減少しておりますが、過去10年間の平均値と比較すると平年並みとなっております。損害額は、昨年と比べると減少しておりますが、過去10年と比較すると大きく増加しております。

火災件数は減っているのに対して、死傷者数はほぼ変わらず、焼損棟数、面積、損害額は大きくなっていることから、1件あたりの火災による様々なリスクが大きくなっているといえます。

出火率について、全国平均は3.0件で山形県は2.9件となっております。（令和6年の値）

区 分		令和7年 (A)	令和6年 (B)	増 減 (A)-(B)	過去10年間の 平均値
火災件数(件)		47	71	△ 24	51.7
建物火災		31	31	0	27.6
林野火災		1	8	△ 7	3.0
車両火災		3	7	△ 4	4.7
その他の火災		12	25	△ 13	16.4
焼損棟数(棟)		73	60	13	48.8
全 焼		26	24	2	17.4
半 焼		2	2	0	1.8
部分焼		27	18	9	17.0
ぼ や		18	16	2	12.6
建物焼損面積 (m ²)		3,956	3,316	640	2,479.1
建物	床面積	3,563	3,090	473	2,270.6
	表面積	393	226	167	208.5
林野焼損面積 (a)		19	17,345	△ 17,326	1,959.4
焼損車両台数(台)		10	13	△ 3	9.7
死傷者 (人)	死 者	2	6	△ 4	2.5
	負 傷 者	7	21	△ 14	11.6
り災世帯数(世帯)		38	29	9	24.4
全 損		10	11	△ 1	8.1
半 損		1	0	1	0.5
小 損		27	18	9	15.8
り災人員数(人)		102	60	42	60.4
損害額(千円)		304,275	428,054	△ 123,779	145,819.3
建物	建 物	262,354	139,915	122,439	92,353.0
	収容物	38,532	20,953	17,579	23,093.6
林 野		0	260,465	△ 260,465	26,082.7
車 両		3,198	1,392	1,806	2,953.4
そ の 他		191	5,316	△ 5,125	1,276.1
爆 発		0	13	△ 13	60.5
出火率(件)		3.43	5.19	△ 1.75	

(備考) 1 「死者」には、火災により負傷した後、48時間以内に死亡した者を含みます。
2 「出火率」とは、人口1万人あたりの出火件数をいいます。

2 市町別発生状況

火災件数は、米沢市が最も多く19件、次いで南陽市の12件となっておりますが、出火率に目を移すと川西町が人口1万人あたり6.25件と最も多く、次いで南陽市、高畠町となっております。これは件数に占めるその他の火災の割合が多いため、その他の火災の多くが空き地や田畑で発生した、もく焼きや火入れの拡大によるものが原因となっております。

焼損率は南陽市が3.5棟と一番高く次いで高畠町の3棟、川西町の1.67棟となっております。これは複数棟の全焼を含む大きな火災が南陽市と高畠町で2件、川西町で1件発生したため、これに伴い1件当たりの焼損面積と損害額が高い傾向にあります。

区 分		米 沢 市	南 陽 市	高 畠 町	川 西 町
火 災 件 数 (件)		19	12	8	8
	建 物 火 災	14	10	4	3
	林 野 火 災	0	0	1	0
	車 両 火 災	2	0	0	1
	その他の火災	3	2	3	4
焼 損 棟 数 (棟)		21	35	12	5
	全 焼	7	13	4	2
	半 焼	1	1	0	0
	部 分 焼	6	13	7	1
	ぼ や	7	8	1	2
建物焼損面積 (m ²)		985	1,996	546	429
建 物	床面積	922	1,848	436	357
	表面積	63	148	110	72
林野焼損面積 (a)		0	0	1	18
焼損車両台数 (台)		4	4	1	1
死 傷 者 (人)	死 者	1	1	0	0
	負 傷 者	2	1	4	0
り災世帯数 (世帯)		9	17	7	5
	全 損	1	5	2	2
	半 損	0	1	0	0
	小 損	8	11	5	3
り災人員数 (人)		15	50	19	18
損 害 額 (千円)		137,130	122,221	39,287	5,637
建 物	建 物	131,650	90,225	35,245	5,234
	収 容 物	4,851	31,159	2,142	380
	林 野	0	0	0	0
	車 両	629	811	1,735	23
	そ の 他	0	26	165	0
	爆 発	0	0	0	0
出 火 率 (件)		2.52	4.27	3.91	6.25
焼 損 率 (棟)		1.50	3.50	3.00	1.67

(備考) 1 本統計において「焼損率」とは、建物火災1件あたりの焼損棟数をいいます。

3 火災通報（覚知）方法

火災通報は、消防側（受信方法）は119番が最も多く47件中34件となっております。通報者側は携帯電話による通報が47件中30件となっております。携帯電話の高い普及率がそのまま反映されております。

		火 災 種 別 (件)					
		計	建 物	林 野	車 両	その他	爆 発
119番通報	固定電話	5	4			1	
	携帯電話	29	19	1	2	7	
加入電話	固定電話	3	2			1	
	携帯電話	1	1				
警察電話		2	1			1	
駆け付け通報							
事後聞知		4	4				
その他		3			1	2	
合 計		47	31	1	3	12	

(備考) 1 「事後聞知」とは消防機関が鎮火後に覚知したものです。

4 初期消火状況

(1) 初期消火実施の状況

初期消火は47件の火災に対し、約半数の23件で実施されています。さらにその約半数の12件で初期消火に成功し、被害軽減が図られています。

初期消火が行われなかった理由としては、発見の遅れや身近に器具等がなかったことが主な要因となっております。

		火 災 種 別 (件)					
		計	建 物	林 野	車 両	その他	爆 発
初期消火実施		23	14		2	7	
	初期消火有効	12	11			1	
初期消火未実施		24	17	1	1	5	
合 計		47	31	1	3	12	

(2) 初期消火の方法

初期消火の方法は、ほとんどが次の3種類に分けられる傾向となりました。

いずれも、身近にある方法をとったものと考えられます。発見が早く火が小さいうちに初期消火を行うことができれば、成功率は高くなります。

安全・確実に消火するため、一般住宅にも消火器の設置をお勧めいたします。

消火方法	件 数	うち有効	使用率	成功率
粉末消火器	9	4	39.1%	44.4%
水道・浴槽・汲み置きの水	8	4	34.8%	50.0%
寝具・衣類等をかけた	3	3	13.0%	100.0%
その他	3	1	13.0%	33.3%
合 計	23	12	—	—

(備考) 1 「使用率」はその方法が使用された件数÷初期消火実施件数をいう。

2 「成功率」はその方法を使用した場合の有効件数÷使用件数をいう。

5 月別火災発生状況

建物火災と車両火災は、月別及び四季別ともに目立った傾向は見られませんでした。冬季に損害額が多くなっておりませんが、1件の火災で大きな損害があったため、冬季に損害が多い傾向とは言い切れません。

林野火災やその他の火災は春季～夏季にかけて多く発生する傾向が見られます。

	出火件数	火災種別 (件)				死傷者 (人)		損害額 (千円)					
		建物	林野	車両	その他	死者	負傷者	建物	林野	車両	その他	爆発	計
1月	2	2					1	98					98
2月	2	2						136,383					136,383
3月	5	5						6,142					6,142
4月	3			1	2					23			23
5月	4	3	1					44,273					44,273
6月	4	2			2	1	3	37,554		1,785			39,339
7月	5	2		1	2			3,252		547			3,799
8月	8	3			5		1	38			40		78
9月	1	1						6					6
10月	5	5					1	69,241		761	15		70,017
11月	3	2			1		1	128		2	125		255
12月	5	4		1		1		3,771		80	11		3,862
合計	47	31	1	3	12	2	7	300,886		3,198	191		304,275

6 四季別火災発生状況

	出火件数	火災種別 (件)				死傷者 (人)		損害額 (千円)					
		建物	林野	車両	その他	死者	負傷者	建物	林野	車両	その他	爆発	計
春季 (3～5月)	12	8	1	1	2			50,415		23			50,438
夏季 (6～8月)	17	7		1	9	1	4	40,844		2,332	40		43,216
秋季 (9～11月)	9	8			1		2	69,375		763	140		70,278
冬季 (12～2月)	9	8		1		1	1	140,252		80	11		140,343
合計	47	31	1	3	12	2	7	300,886		3,198	191		304,275

(備考) 冬季の1月及び2月は、当該年の数値である。

7 曜日別火災発生状況

	出火件数	火災種別 (件)				死傷者 (人)		損 害 額 (千円)					
		建 物	林 野	車 両	そ の 他	死 者	負 傷 者	建 物	林 野	車 両	その他	爆 発	計
日曜日	5	2			3			185			40		225
月曜日	10	6			4	2	1	8,017		50	11		8,078
火曜日	4	3			1		1	69,431		761	15		70,207
水曜日	7	5		1	1		1	895		25	125		1,045
木曜日	7	5		1	1			3,286		80			3,366
金曜日	9	7			2		3	86,741		1,735			88,476
土曜日	5	3	1	1			1	132,331		547			132,878
不 明													
合 計	47	31	1	3	12	2	7	300,886		3,198	191		304,275

8 時間別火災発生状況

時間別に火災件数をみると、食事準備時や暖房器具を使い始める時間帯に多く火災が発生している傾向が見られます。

当管内で昨年は深夜時間帯の火災があまりありませんでしたが、この時間帯の火災はひとたび発生すると発見の遅れなどから死者が発生する割合が高いため、引き続き注意が必要です。

	出火件数	火災種別 (件)				死傷者 (人)		損 害 額 (千円)					
		建 物	林 野	車 両	そ の 他	死 者	負 傷 者	建 物	林 野	車 両	その他	爆 発	計
0時～2時													
2時～4時	1	1											
4時～6時	5	3			2	1		586			40		626
6時～8時	2	1			1						125		125
8時～10時	5	4			1		2	3,375		2			3,377
10時～12時	7	5		1	1		4	33,705		1,758			35,463
12時～14時	5	2		1	2			714		80			794
14時～16時	2	1			1			9					9
16時～18時	2	1		1				3,768		547	11		4,326
18時～20時	6	3	1		2			4,066					4,066
20時～22時													
22時～24時													
不 明	12	10			2	1	1	254,663		811	15		255,489
合 計	47	31	1	3	12	2	7	300,886		3,198	191		304,275

9 出火原因（前年・過去5年比較）

出火原因別の火災件数は、こんろが最も多く4件で、次いでたばこ、電灯・電話等の配線、放火、ごみ焼却となっております。

「こんろ」による火災原因は、5割が「放置する・忘れる」ことにより、

「たばこ」による火災原因は、7割が「不適當なところに捨て置く」ことで、

「電灯・電話等の配線」による火災原因は、全て「短絡する」ことで、

「ごみ焼却」による火災原因は、7割が飛び火や火勢拡大により火災に至っています。

	令和 7年	令和 6年	前年比	令和 5年	令和 4年	令和 3年	過去 5年計
たばこ	3	6	△ 3	2	2	1	14
こんろ	4	4		2		3	13
かまど							
風呂かまど				1		1	2
炉							
焼却炉							
ストーブ	2	1	1	3	1	1	8
こたつ					1		1
ボイラー					1		1
煙突・煙道	1		1			1	2
排気管	2	2			1		5
電気機器	2	1	1	3	1	1	8
電気装置		2	△ 2	2	1		5
電灯・電話等の配線	3	6	△ 3		1	3	13
内燃機関	1		1			2	3
配線器具		3	△ 3	4	3	1	11
火あそび				1			1
マッチ・ライター				1			1
たき火		1	△ 1				1
溶接機・切断機		1	△ 1				1
灯火				1			1
衝突の火花						1	1
取灰	2	2					4
火入れ	1	3	△ 2	1	1	4	10
放火	3	2	1		2		7
放火の疑い	2	10	△ 8		2	1	15
その他	7	15	△ 8	13	9	5	49
その他（ごみ焼却）	3	4	△ 1	1	4	6	18
不明	7	8	△ 1	15	17	24	71
調査中	4		4				4
合計	47	71	△ 24	50	47	55	270

10 住宅火災発生状況

住宅内で発生した火災は16件でした。これは昨年より5件減少しておりますが概ね平年並みです。

特徴的な項目は「死傷者数」で、過去5年間に発生した火災による死者13人のうち11人が、負傷者62人のうち42人が住宅火災で発生している状況です。

また、住宅火災で死者の発生した火災11件全てで住宅用火災警報器が未設置でした。火災を早期に発見できるよう、住宅用火災警報器を設置・維持管理しましょう。

さらに、住宅火災による死者の8割以上は高齢者が犠牲になっている状況です。置賜広域行政事務組合消防本部では住宅防火対策推進運動を行っております。詳しくはホームページをご覧ください。

	火災 (件)	建物火災 (件)	住宅火災 (件)	死者			負傷者 (人)	住警器 設置 (件)
				死者 (人)	高齢者 (人)	住警器 未設置 (件)※		
令和7年	47	31	16	2	1	2	4	2
令和6年	71	31	21	5	4	5	12	8
令和5年	50	29	17	2	2	2	7	6
令和4年	47	30	17	2	2	2	8	3
令和3年	55	29	14				11	6
過去5年計	270	150	85	11	9	11	42	25

※「住警器」とは、住宅用火災警報器をいう。

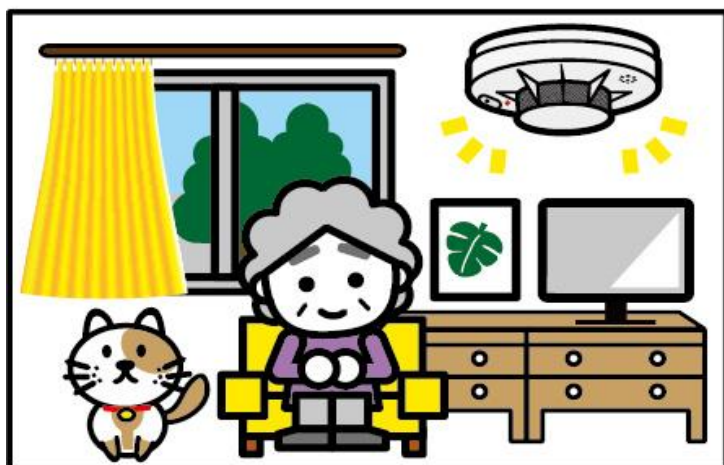
※「住警器未設置」とは、未設置及び不明を含む。

住警器設置で 安全な暮らし

置賜消防のホームページ
はこちらから



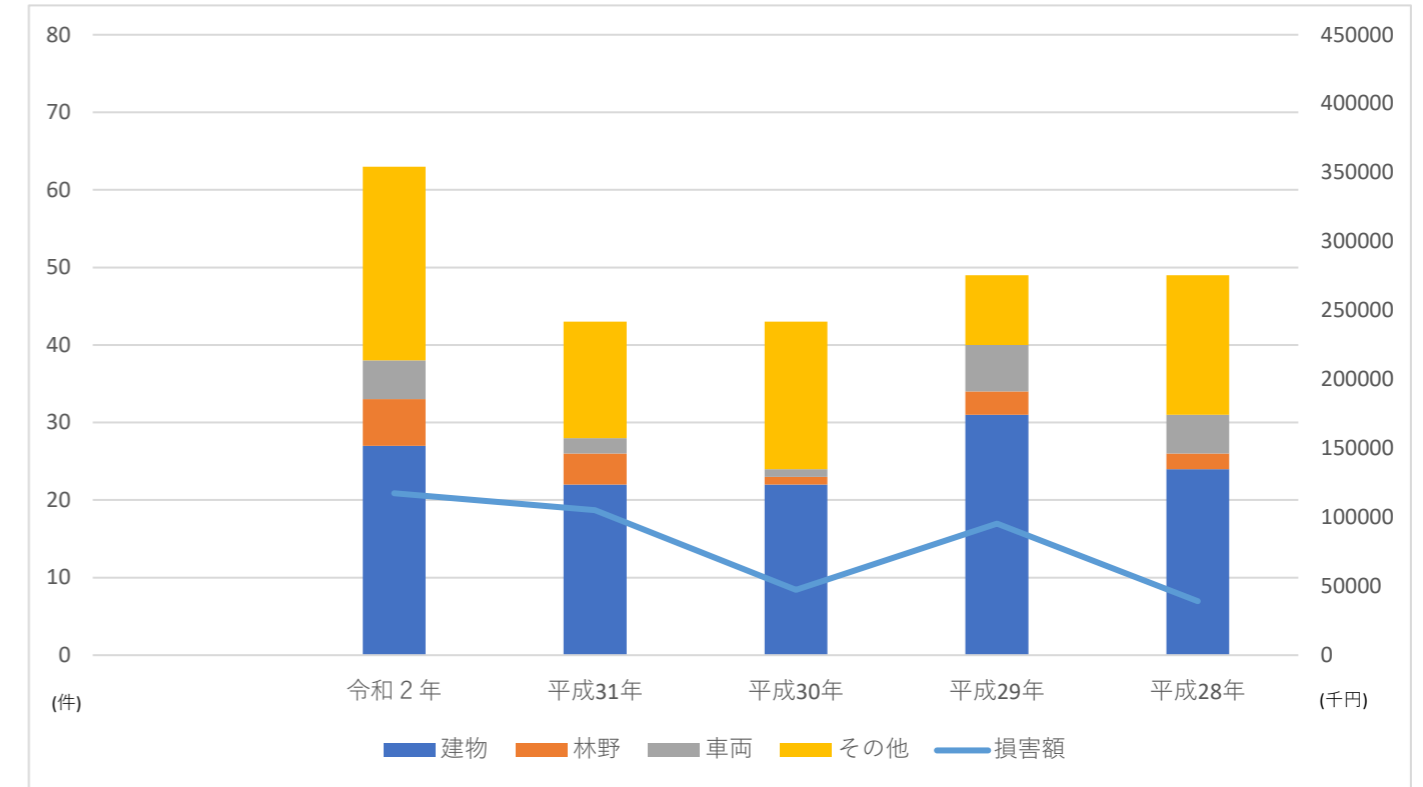
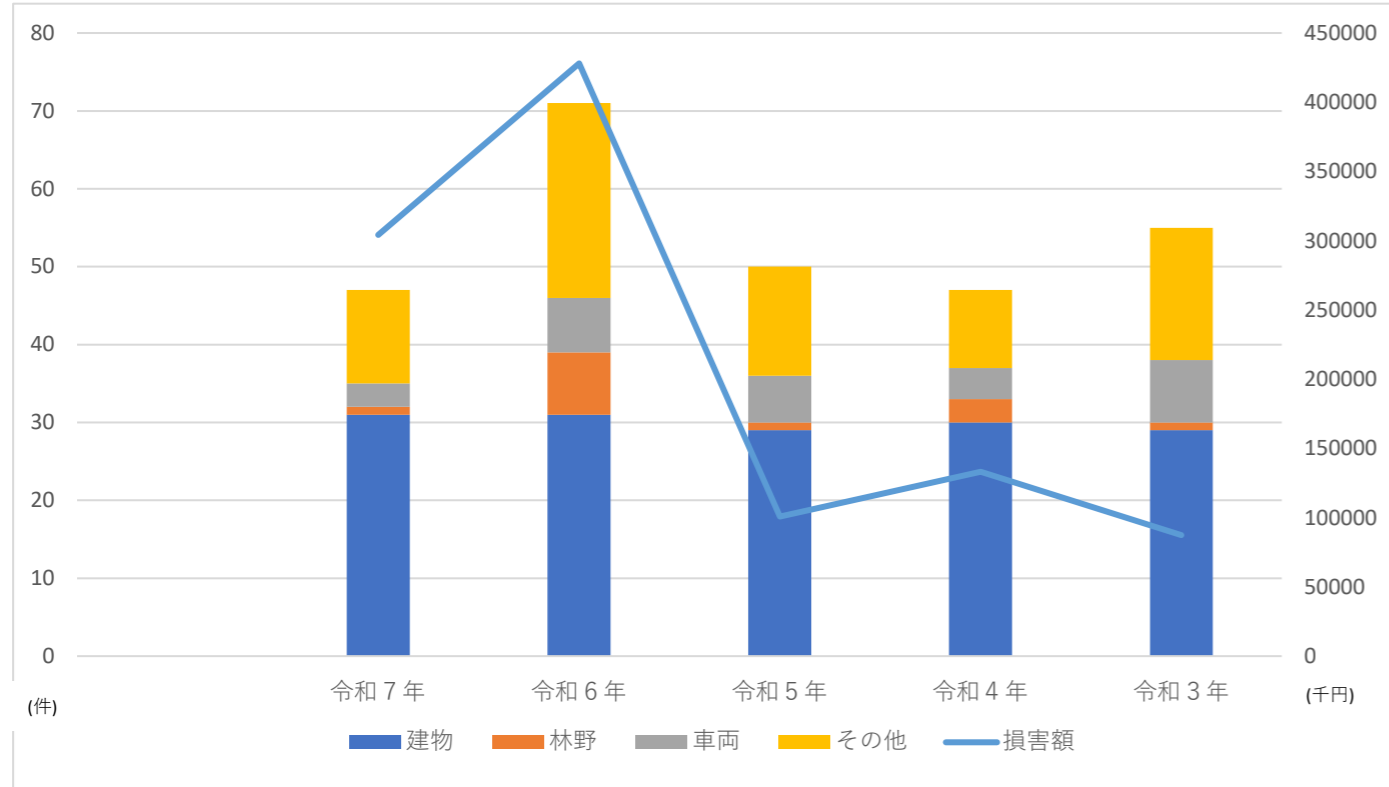
住宅防火推進運動



11 各市町消防分団別火災発生状況

		合 計	建物火災	林野火災	車両火災	その他の 火災	爆 発
米 沢 市	1 分団	2	1			1	
	2 分団	1	1				
	3 分団	2	2				
	4 分団	1	1				
	5 分団	1	1				
	6 分団	1	1				
	7 分団						
	8 分団	2	2				
	9 分団						
	10 分団	2	1		1		
	11 分団	3	2		1		
	12 分団	1	1				
	13 分団						
	14 分団	1				1	
	15 分団	2	1			1	
	16 分団						
		米沢市計	19	14		2	3
南 陽 市	1 分団						
	2 分団						
	3 分団	2	2				
	4 分団	1	1				
	5 分団	2	1			1	
	6 分団	2	2				
	7 分団	5	4			1	
	8 分団						
		南陽市計	12	10			2
高 畠 町	1 分団	4	2	1		1	
	2 分団	1	1				
	3 分団						
	4 分団						
	5 分団	2				2	
	6 分団	1	1				
		高畠町計	8	4	1		3
川 西 町	1 分団	5	3			2	
	2 分団						
	3 分団	1				1	
	4 分団	1				1	
	5 分団						
	6 分団						
	7 分団	1			1		
		川西町計	8	3		1	4
合 計		47	31	1	3	12	

12 過去10年間の火災発生状況



区分	令和7年	令和6年	令和5年	令和4年	令和3年
火災件数	47 件	71 件	50 件	47 件	55 件
建物	31 件	31 件	29 件	30 件	29 件
林野	1 件	8 件	1 件	3 件	1 件
車両	3 件	7 件	6 件	4 件	8 件
その他	12 件	25 件	14 件	10 件	17 件
焼損棟数	73 棟	60 棟	45 棟	44 棟	60 棟
全焼	26 棟	24 棟	16 棟	14 棟	23 棟
半焼	2 棟	2 棟	2 棟	3 棟	3 棟
部分焼	27 棟	18 棟	14 棟	14 棟	22 棟
ぼや	18 棟	16 棟	13 棟	13 棟	12 棟
建物焼損面積	3956 m ²	3316 m ²	2562 m ²	1277 m ²	3161 m ²
床面積	3563 m ²	3090 m ²	2450 m ²	1158 m ²	2829 m ²
表面積	393 m ²	226 m ²	112 m ²	119 m ²	332 m ²
林野焼損面積	19 a	17345 a	195 a	6 a	0 a
焼損車両台数	10 台	13 台	14 台	15 台	15 台
死者数	2 人	6 人	2 人	3 人	0 人
負傷者数	7 人	21 人	9 人	13 人	12 人
り災世帯数	38 世帯	29 世帯	25 世帯	27 世帯	29 世帯
全損	10 世帯	11 世帯	12 世帯	8 世帯	7 世帯
半損	1 世帯	0 世帯	0 世帯	1 世帯	0 世帯
小損	27 世帯	18 世帯	13 世帯	18 世帯	22 世帯
り災人員数	102 人	60 人	48 人	66 人	73 人
損害額	304,275 千円	428,054 千円	100,761 千円	133,188 千円	87,384 千円
建物	300,886 千円	160,868 千円	92,554 千円	126,730 千円	83,902 千円
林野	0 千円	260,465 千円	0 千円	0 千円	0 千円
車両	3,198 千円	1,392 千円	8,140 千円	2,795 千円	3,099 千円
その他	191 千円	5,316 千円	67 千円	3,103 千円	383 千円
爆発	0 千円	13 千円	0 千円	560 千円	0 千円

区分	令和2年	平成31年	平成30年	平成29年	平成28年
火災件数	63 件	43 件	43 件	49 件	49 件
建物	27 件	22 件	22 件	31 件	24 件
林野	6 件	4 件	1 件	3 件	2 件
車両	5 件	2 件	1 件	6 件	5 件
その他	25 件	15 件	19 件	9 件	18 件
焼損棟数	46 棟	44 棟	34 棟	44 棟	38 棟
全焼	14 棟	17 棟	11 棟	18 棟	11 棟
半焼	1 棟	2 棟	1 棟	1 棟	1 棟
部分焼	16 棟	15 棟	13 棟	16 棟	15 棟
ぼや	15 棟	10 棟	9 棟	9 棟	11 棟
建物焼損面積	3402 m ²	2444 m ²	1614 m ²	1806 m ²	1253 m ²
床面積	3158 m ²	2236 m ²	1451 m ²	1612 m ²	1159 m ²
表面積	244 m ²	208 m ²	163 m ²	194 m ²	94 m ²
林野焼損面積	554 a	1045 a	6 a	419 a	5 a
焼損車両台数	11 台	5 台	3 台	7 台	4 台
死者数	7 人	2 人	0 人	1 人	2 人
負傷者数	14 人	10 人	10 人	12 人	8 人
り災世帯数	27 世帯	19 世帯	19 世帯	17 世帯	14 世帯
全損	8 世帯	6 世帯	7 世帯	9 世帯	3 世帯
半損	1 世帯	1 世帯	0 世帯	0 世帯	1 世帯
小損	18 世帯	12 世帯	12 世帯	8 世帯	10 世帯
り災人員数	66 人	50 人	51 人	51 人	37 人
損害額	117,434 千円	105,112 千円	47,357 千円	95,477 千円	39,151 千円
建物	111,017 千円	104,580 千円	45,178 千円	90,310 千円	38,441 千円
林野	0 千円	182 千円	180 千円	0 千円	0 千円
車両	6,125 千円	279 千円	1,250 千円	2,575 千円	681 千円
その他	292 千円	71 千円	749 千円	2,586 千円	3 千円
爆発	0 千円	0 千円	0 千円	6 千円	26 千円

全国の令和6年と令和5年の火災件数等の比較

	令和6年	令和5年	増 減
総出火件数	37,141 件	38,672 件	△ 1,531 件
建物火災	20,972 件	20,974 件	△ 2 件
うち住宅火災	11,839 件	12,112 件	△ 273 件
林野火災	831 件	1,299 件	△ 468 件
車両火災	3,546 件	3,521 件	25 件
船舶火災	62 件	58 件	4 件
航空機火災	3 件	1 件	2 件
その他の火災	11,727 件	12,819 件	△ 1,092 件
火災による死者	1,451 人	1,503 人	△ 52 人
うち住宅火災による死者 (放火自殺者等を除く。)	1,030 人	1,023 人	7 人
うち65歳以上の高齢者	779 人	762 人	17 人
火災による負傷者	5,805 人	5,766 人	39 人
原因別出火件数			
放火と放火の疑いの合計	3,904 件	4,111 件	△ 207 件
うち放火	2,377 件	2,495 件	△ 118 件
うち放火の疑い	1,527 件	1,616 件	△ 89 件
たばこ	3,058 件	3,498 件	△ 440 件
たき火	2,781 件	3,473 件	△ 692 件
こんろ	2,718 件	2,838 件	△ 120 件

令和7年度 全国統一防火標語

「急ぐ日も 足止め火を止め 準備よし」